

特集

森と暮らす

～森林を守る新しい制度が始まりました～

森林と聞いて皆さんは何を思い浮かべるでしょうか。緑、自然、木々……。平成28年に国民の祝日「山の日」が制定され、少しずつ関心が高まり、より身近な存在になってきている森林。しかし、その働きや管理の大切さを知っている人は少ないでしょう。また、今年度からは森林管理について新しい制度が始まりました。

今号では森林の働きとこの新たな制度を紹介します。

森林に 起きている問題

人けの無い静かな緑をかき分けると、そこには日々、森林と向き合う人たちの作業場が広がります。今の時期、林業では「植栽した苗の成長に必要な「除伐」(植栽した苗の周りに生えている余分な木を伐採すること)や雑草を刈り取る「下刈り」作業の真っ最中。植栽された山々は「伐って、使って、植えて、育てる」という循環によってバランスが保たれます。

安来市は森林率約71%のまち。この数字から、市内のほとんどが山に囲まれ、私たちは山と深く関わって暮らしていることがわかります。しかし、近年、間伐時期がきている樹木が放置されたり、度重なる相続などで境界や所有者が不明になるなど、関心の薄れから森林の荒廃化が問題となっています。

こうした問題は、災害防止などの森林が本来持つ機能を十分に発揮できなくなることにつながるため、解決が急がれます。

一人一人の意識で 森林を守る

「森林を適切に管理することは、環境保全や山崩れ防止など私たちの安全な生活を守ることに





荒金宙希さん

「近年は、木材価格の低下や森林そのものへの関心が薄れていることなどから山が放置されるようになっていきます」と荒金さんは、日頃目にする現状を口にします。「森林保全のための整備とは、木の成長に必要な枝を切る作業や山に光を入れるために木を間引く間伐などを行うこと。また、荒廃した木を切つ

て新たに木を植えることも保全につながります」と森林を守る方法を教えてくれました。「私たちは森林と共に生きていくことを忘れてはいけません。このまま放置森林が増える」と自然が失われ、災害なども発生しやすくなります。こうしたことを防ぐためにも森林組合では整備を進めています。森林保全は一人一人の意識が大切です。多くの人に森林のことを理解してもらい、森林を守るための選択をしていただきたいです」と自分たちの役割を話す荒金さん。その眼差しは、森林への思いであふれています。

林業プロフェッショナルとしてできることを

森林組合では、実際に現場で作業をする職員と図面などを作成して、依頼主との打ち合わせや現場の作業班の調整などをする職員に分かれています。

現在、荒金さんは、複数の作業班が円滑に作業できるように調整する役割や現場監督、山林調査などを担っています。

「私たちの仕事は、主に山に入ることです。歩き道のない山の中を歩いて調査や現場確認をすることは大変ですが、こうした経験によって山を知ることが

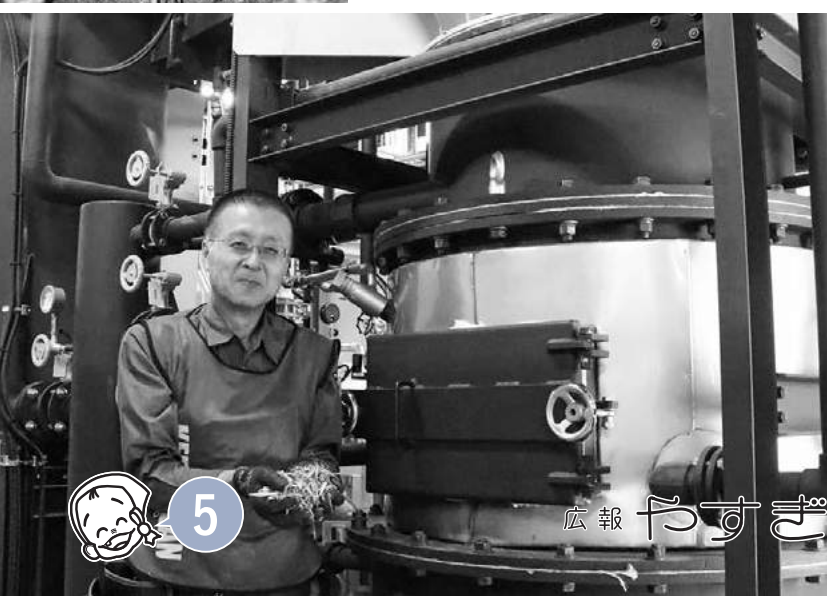
でき、質の高い作業ができるようになります」と荒金さんは力を込めて話します。

「以前、家の裏の倒れそうな木を伐採してほしいという依頼を受けたことがあります。この案件は、樹木と家が接近しており作業が難しいことから、依頼主さんは他の業者に一度断られていました。私は、現場確認や依頼主さんの意向を聞き取った上で、ツリークライミング（※）という手法を選びました。伐採を完了して依頼主さんにお礼を言われたときはとてもうれ

◀森林組合が間伐材を利用して作製しているスウェーデントーチ。キャンプで食材を焼くなどして楽しめるほか、災害時に暖をとるときなどに利用できます。切れ込みが途中までしか入っていないため、地面の芝生などを傷つけることなく使うことができます。

▼総合文化ホール「アルテピア」の冷暖房はバイオマスボイラーを採用しています。燃料となるチップは安来市産の木材が利用されています。

木材はさまざまな場面で活用され、私たちの生活を支えています。



しかったです」と笑顔を見せる荒金さん。こうした樹木に対する知識と技術を身につけた人たちの熟練の技で、森林を守る作業が行えているのです。

「私たちは林業のプロフェッショナルとなるべき存在。これからも山を見て、山の声を聞き、身につけた知識と技術で森林を守っていききたいです」と意気込みます。

（※）ロープやハーネスなどの専用の安全器具を使って木に登り、伐採やせん定を行う技術。

皆伐後の
再造林に
ご活用
ください

早生樹の植栽を補助します

補助対象

早生樹であるコウヨウザンの植栽にかかる費用（植栽面積0.1ha以上、1,500本/ha以上）と下刈（植栽後3年以内）にかかる費用

※申請年度内に完了できるもの

対象者

自分の所有する市内山林に対象施業の費用を自身が負担する人

補助金の額

負担額の2分の1（上限10万円）

早生樹とは

初期の成長量などがスギやヒノキよりも大きく、比較的短いサイクルで収穫ができます。また、成長過程で必要な作業コストを減らせることなどから、全国的に注目されています。



▲コウヨウザン

問い合わせ

農林振興課

☎23-3338

しまね東部森林組合

☎32-2680

森林資源の適正な管理と林業の成長産業化を進めるため、市が主体となって森林管理を行う制度がスタートしました。

適切な経営管理が行われていない森林を、市が仲介役となり、意欲と能力のある林業経営者に集約します。

また、自然的条件が悪く、林業経営が適さない森林などは森林環境譲与税を活用しながら、市が直接管理を行います。（P.7の図を参照）

期待される効果

林業経営ができるにもかかわらず、これまで放置されていた森林に適切な経営管理が行われるようになります。また、間伐が遅れることの解消や伐採後の再造林により、土砂災害等の発生を防止するなど、地域の安全や林業の活性化につながるさまざまな効果が期待されます。

対象森林

対象となる森林は、人工的に造林がされた森林のうち適切な経営管理が行われていない森林などです。

経営の委託を検討したい、自らが管理することができない森林がある場合など、詳しくはお問い合わせください。



▲しまね東部森林組合では、大型の林業機械を使った作業も行っています。

若い人に森林と関わる楽しさを知ってほしい
今年4月、しまね東部森林組合の作業班に新たなメンバーが加わりました。
山本一全さん（30歳）です。
「山に囲まれた地域で育つたので、小さい頃から森林や木々は身近に感じていました。森林組合の仕事は自然を守るといふことにつながるためやりがいがありますし、自然の中での作業はストレス無く働けます」と笑顔で話します。また、「自然や木の香りに囲まれるのでリラックスできます」とこの仕事の魅力を話します。

山本さんは、今、草刈り機を使った作業を主に行っています。これまで、草刈り機は使ったことがなかったと言います
現在は、同じ班員に指導を受けながら技術を習得している山本さん。「1日でも早く他の班員のレベルまで技術を磨きたいです」と話す一方で、「今、私が所属している班は50歳以上の人が大半です。目的の山への道や山の境界などの知識は私たちのような若い世代が引き継いでいかななくてはなりません。若い人に森林を守る仕事の魅力や森林と関わることの楽しさを知ってもらいたいです」と担い手の必要性を口にします。
森林を守り続けていく仕事。それには、次の世代が知識・技術・思いを引き継いでいくことが大切です。

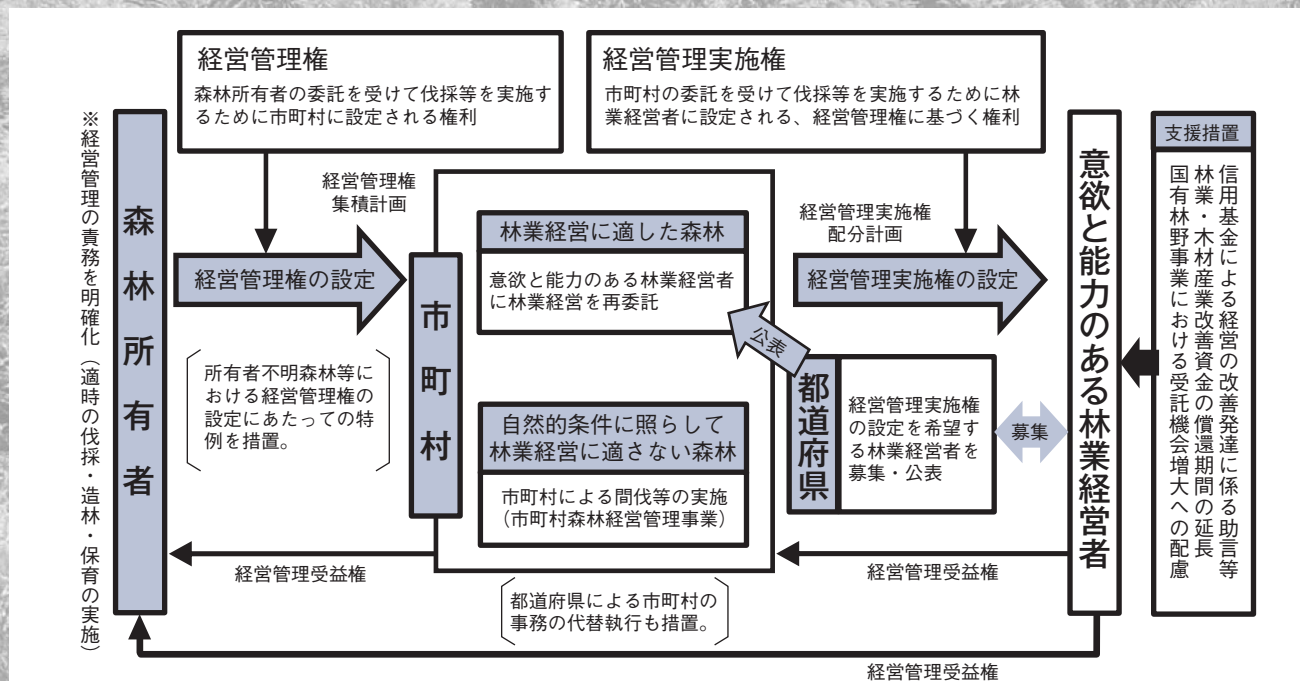


山本一全さん

新しい制度が始まっています

森林経営管理法（新たな森林管理システム）の概要

- ① 森林所有者に適切な森林の経営管理を促すため責務を明らかにする
- ② 森林所有者が自分で森林の経営管理ができない場合に市町村が森林の経営管理を受託する
- ③ 林業経営に適した森林は、意欲と能力のある林業経営者に再委託する
- ④ 再委託できない森林および再委託するまでの間の森林は、市町村が管理を実施する



森林環境譲与税を活用した森林保全

森林は私たちの生活になくってはならない存在です。森林を守るため、令和6年度から東日本大震災復興税の終了に伴い国税（住民税均等割の上乗せ）として、森林環境税（年額 1,000 円）が課税される見込みです。

この森林環境税の動きに先立ち、今年度から森林環境譲与税が市町村に交付されることになっています。これを財源に新たな森林管理制度による森林整備や担い手確保など、地域の実情に応じた林業・木材産業振興を通じた森林保全を進めます。また、市ではスギ・ヒノキに変わる造林木として注目される早生樹の植栽補助を県内で初めて行います。



農林振興課
黒田課長

これらの施策を行うことにより健全な森林を育てながら、経済ベースとして成り立つ力強い林業・木材産業を目指していきます。

林業は世の中の ためになる仕事

森林保全は森林所有者の方の理解がとても大切になってきます。

森林所有者の方はどうしてもコスト面で整備を進めることを躊躇（ちゅうちよ）してしまいます。私たちは、少しでも低コストで作業ができるような方法を考えています。近年では、複数の山を一カ所ずつ作業するのではなく、1つの団地として、一括で作業をすることで、コストを下げる方法などを提案しています。

森林所有者の方には、森林と共生するという観点からも、森林を整備するという目に向けてもらえたらと思います。

また、これからの林業は若い人の力が必要です。森林に携わる仕事は、私たちの暮らしを守ることにつながります。私は、林業は世の中のためになる仕事だと考えています。若い人にこの魅力を知ってもらい関わってもらいたいです。



しまね東部森林組合
平木業務課長